

## 部 会 報 告

### (株)アクティオ三重いなベテクノパーク統括工場見学会 報告

機械部会 基礎工工事用機械技術委員会

#### 1. はじめに

JCMA 機械部会基礎工工事用機械技術委員会では、令和7年10月17日に、三重県いなべ市にある(株)アクティオ様の三重いなベテクノパーク統括工場の見学会を開催した。参加者は事務局を含め15名。油圧ショベルや発電機など基礎工事現場において欠くことのできないレンタル建設機械が、その品質の維持や納期の対応を一体どのようにして行って供給されているのか、その仕組みと安全・安心を届けるための取り組みや設備について見学してきたので、その内容について報告する。



写真—1 集合写真

#### 2. 三重いなベテクノパーク統括工場について

1967年に設立以来、建設機械のレンタルで飛躍的に成長している同社が全国展開をするなかで、これからの50年を創出する目的で2001年に栃木市に設立した「テクノパーク」は現在国内に8か所あり、そのうち最大の敷地面積78,548 m<sup>2</sup>をほこる三重いなベテクノパーク統括工場は、同社で取り扱うほぼすべての機械の整備を担っていて東海エリアと西日本の物流拠点となっている。またトレーニングフィールドでは機械の研究開発や実証実験などを行っており、単なるレンタルに留まらず顧客の課題にこたえるためのコンサルティング、同社が目指す「レンサルティング」を具現化するための設備も揃えている。加えて地域社会とのつながりを大切にして、防災拠点としての役割も果たしておりBCPに対応するための、非常用電源の供給機能や軽油燃料および非常食の備蓄も行って、災害に強い拠点としての一面を合わせ持たせている（写真—1）。



写真—2 各工場に設置された稼働状況を示すモニタ

#### 3. 工場見学会

##### (1) 施設紹介

総合事務所内の会議室において、施設案内の動画を交えて会社概要と工場内の設備、また取り扱い製品ごとに分かれた5部所の内容と特徴についての説明をうけた。また工場のなかで特に力を入れている取り組み

として、改善活動と労災撲滅のための安全活動の推進、そして部門ごとの生産管理状況を見える化して全員参加で工場の運営に努めていることをご説明頂いた。以下実際に場内を見学した内容について記載する（写真—2）。

##### (2) 整備・修理に特化した設備

重機・車両エリアでは自走できる機械を中心に整備・修理が行われており、建設用の油圧ショベルから高所作業車、レンタカーなどを取り扱っている。そのため設備は充実しており、各製品の整備・修理のために

特化した内容となっていた。

- ・トラック用：地下ピット，車体を持ち上げるフロアーリフト×2基，専用の洗車場
- ・油圧ショベル：整備スペースのフロアーには鉄板が敷かれ大型ショベルを想定した高い天井の建屋
- ・高所作業車：バッテリー駆動の高所作業車を20台充電可能な電源設備
- ・軌陸車：狭軌・広軌の走行可能な線路

その他にも，建設用の足場やアルミ製のはしごや脚立など建材を専用に取り扱うスペースを見学したが，専用の塗装ブースも備えていて，作業者には地域のシルバー人材活用も行って人手の確保が行われているとのことだった。

多くのレンタル機資材が保管された置き場のクレーンヤードには8基の門型クレーンが配置されていて，最大の物は吊り能力が20tある（写真—3）。

### (3) 高い品質を維持する取り組み

発電エリアにおいては，レンタル機として出力の小さなものから大型まで，様々なメーカーの発電機およびコンプレッサーを保有していて，いつでも貸し出せるように室内排気設備を備えた工場内でその整備や修理が行われていた。特に大型発電機に関しては，こちらが西日本の基幹工場としての役割を担っているとのことだった。ディーゼル発電機は低負荷で長時間運転を行うと不完全燃焼により排気ガス中にスが増えることによってマフラーやエンジンに堆積して最悪はエンジンが破損するなどのトラブルになることがあり，これを避けるために，レンタルから返却されたすべての発電機は専用の試験設備に持ち込んで100%負荷を実施することにより不具合要因を取り除いていた。

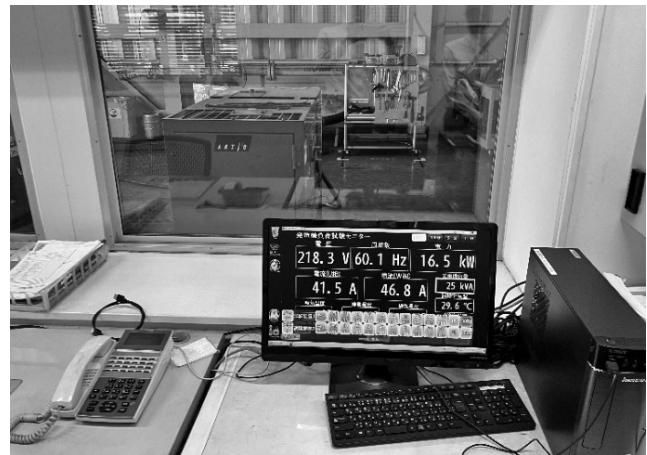
水中ポンプにおいても専用の試験装置で絶縁，揚程，流量などの測定をしてレンタル後に性能劣化がないことの確認が実施されていて，安心して使用できるように高品質を維持する取り組みが実施されていた（写真—4）。

### (4) 安全道場について

労働災害の撲滅を目指して，安全に繋がる職場内の整理・整頓や身だしなみといった基本から社員が体験しながら学べる場として設けられた「安全道場」という施設が工場内にあり見学をさせて頂いた。複数の体験コーナーができていて，身だしなみを確認するコーナーには大きな姿見があり自身の姿を改めてチェックできた。重量のあるバッテリーを実際に持ち比べさせてその感覚を確かめるコーナー，ショット玉が



写真—3 大型の橋形クレーンが並ぶ置き場



写真—4 発電機の負荷試験場



写真—5 安全道場での重量物の体験

転がった足元が不安定な場所での転倒の危険体験等々ができるようになっていた。そのほかにも過去の災害事例の紹介や熱中症対策に関する展示が社員の手作りで作成されていた。全社員が体験することを目指していて，安全に対する意識を全員で高めて災害の撲滅を目指している有意義な取り組みを見学させて頂いた（写真—5）。

#### (5) 改善・提案活動について

様々なレンタル機資材を扱うなかで、日々改善や提案活動が行われていて、その推進のために同社では毎年優劣を競う機会があるそうで、三重いなベテクノパーク統括工場は7年連続で表彰を受けているとのことだった。直近で受賞した内容は発電機等の整備に作業姿勢を保つために使われる架台の改善だった。架台の重量があって取扱いの悪さから使われずにいたそうで、低い位置に置いたまま屈んだ姿勢で整備をしていた問題に対して、改善策として架台の足元にコロと片持ちで足を浮かせるアームを付けて移動を容易にしたことで、皆が架台に乗せて整備を行うようになり、安全かつ楽に作業ができるようになったというものだった。コストもそれほど掛けずにちょっとしたアイデアで大きな改善効果を上げた一例として紹介頂いた(写真-6)。

#### (6) 地域社会との共生

また社会貢献として、工場内で地域の子供たちの見学会が実施された様子が社内の掲示板で紹介されていた。実際に近くで建設機械を見学するところや、ラジコン対応型油圧ショベルの操作体験を楽しそうに行っている様子が紹介されていた。さらにはSDGsを体感



写真-6 外部表彰も受けたアイデア架台

するテーマで水処理の体験や食用油からバイオディーゼル燃料を作る体験等々の趣向を凝らした体験型の見学会が実施されていて、今年で4回目の実施とのことだった。将来を担う子供たちに、建設業や建設機械の果たす役割について実体験を通じて身近に感じてもらうことによって、業界の人材確保に繋がってくれることも期待しているとお話だった。地元いなべ市とも協力してSDGsの推進活動を行っていて、環境対応としては建機洗浄用には井水を使用することやソーラパネルの設置等も行っていることを伺った。

#### 4. おわりに

今回は建設関連の委員会として建設機械のレンタル事業を行っている工場の見学をさせて頂きました。様々なレンタル製品を安心・安全に使えるように届けてくださる、そのための対応のレベルの高さを実感しました。さらには物流と防災の拠点としての役割を果たすことを目的として、本業を通じ建設業界のみならず、世の中の課題を解決しようとする取り組みに昇華して活動をされていることを見聞しました。三重いなベテクノパーク統括工場で行われている様々な活動は、その設立の目的の通りに明るい未来を創出する可能性に満ちていると感じました。

最後になりましたが、広い場内全般にわたり案内頂いたRSいなベテクノパーク工場の松田工場長様をはじめ、各エリアにおいて丁寧に説明をして頂いたテクノパークの皆様に、深く感謝し御礼を申し上げます。



#### 【筆者紹介】

澤田 元宏 (さわだ もとひろ)  
重車輻工業(株)  
社長  
(一社)日本建設機械施工協会  
機械部会 基礎工事用機械技術委員会  
委員